

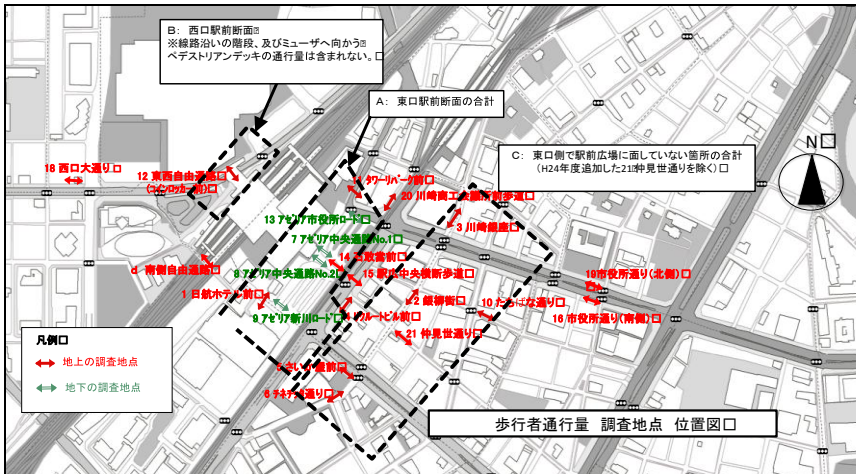
かわさきTMO通信

<毎度おじゃまします・かわさきTMOタウンマネージャーです>

2014年5月号 No.53

- 駅周辺通行量調査結果
- イベント自己評価の報告
- 事務局便り

発行元：川崎商工会議所
 発行責任者：会長 猪熊俊夫
 編集責任者：タウンマネージャー 笹原克
 発行日：2014年5月25日
 発行部数：1,000部
 ◆連絡先
 TEL：044-211-4114
 FAX：044-211-4118
 Email：
 sasahara@kawasaki-cci.or.jp
 「まちづくり情報交換誌」を目指しています。タウンマネージャーにお気軽に情報をお寄せください。
 ご意見・ご感想・ご要望大歓迎です！



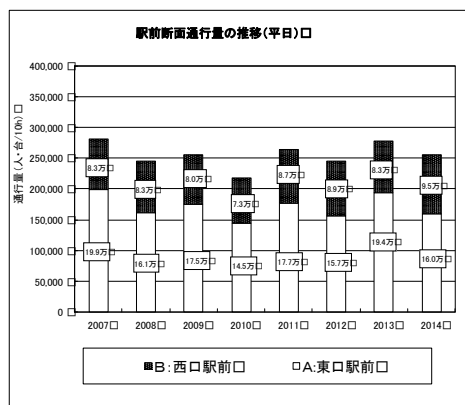
◇ 駅周辺通行量調査結果
 かわさきTMOでは、毎年川崎駅周辺地区の歩行者通行量調査(自転車数を含む)を行っています。今年(2014年)も3月2日(休日日曜日)および3月6日(平日木曜日)の2日間、21か所の調査地点で午前10時から午後8時までの10時間にわたって、通行者数を調査しました。

調査は、全地点で男性・女性・自転車を方向別に観測しています。調査結果は、「かわさきTMO平成25年度活動報告書」に全調査地点の結果が掲載されています。各データは、平日及び休日の2表あり、各表は、1時間ごとに方向(2方向)別、男性、女性、自転車の通行者実数とその合計数が記されています。また、この数値は、一つのグラフにまとめられ、昨年度の調査結果と比較できるように表示されています。

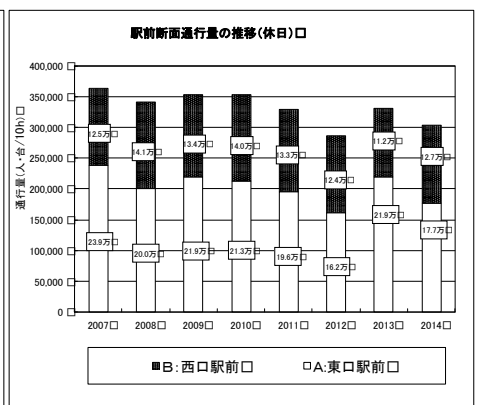
ここでは、大きくJR川崎駅の東口および西口の断面交通量をみます。はじめに平日をみると東口断面は16万人、西口断面は9・5万人であわせて25・5万人になります。

一方休日は、東口断面は17・7万人、西口断面は12・7万人とあわせて30・4万人と平日より東口及び西口の両断面とも多いことがわかります。

2007年以降の推移経緯で比較すると、平日では概ね平均的な通行量ですが、休日はこの8年の中では、2番目に低い数値となっています。これは、主に東口断面が減少していることに起因しています。



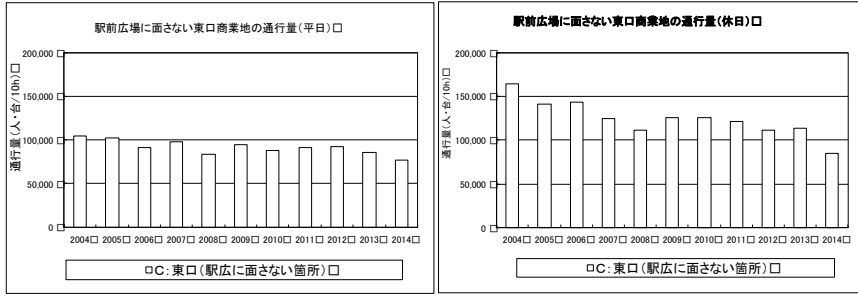
△駅前断面通行量の推移(平日)



△駅前断面通行量の推移(休日)

次に、東口商店街エリアの通行量をみてみます。平日は、これまで10万人程度の通行量でありましたが、2008年以降減少傾向が続いています。本年の調査では、7・6万人となり減少に歯止めがかかっていません。一方、休日に目を向けると、平日以上の減少

傾向がみられます。2004年には15万人を越えていましたが、2014年は、8・5万人程度となっており、東口商店街の集客力が年々減少しているとみななければなりません。多少雨に影響を受けたとは言えますが、大きな傾向は東口商店街のあり方を検討する必要があります。



△駅前広場に面さない東口商業地の通行量(平日)

△駅前広場に面さない東口商業地の通行量(休日)

(タウンマネージャー笹原克)

◇イベント自己評価の報告

川崎駅周辺地区及び川崎区では、春秋と数多くのイベントが繰り広げられています。特に、秋の9月から11月にかけては、毎週連続的に様々なイベントが繰り広げられており、イベントや祭りは、「街の元気度」のバロメーターでもあります。

TMOでは、昨年度より「イベントの自己評価」を行っております。これは二つの目的を持って行っております。

一つは、各イベント主催者が自分たちのイベントを客観的にみて、その特徴、変化、実態を記録的につかむことです。そこから次年度への改善点を見出すことも可能です。もう一つは、各イベントが他のイベントとの相対評価を出来るようにすることにあります。

秋のイベントが連続的に川崎駅周辺地区で展開されるときに、個々のイベントが相互に連携しあいながら、地域全体のイベントを作り上げていくための、基礎となる記録となります。

現在自己評価しているイベントは、10団体です。「かわさき阿波おどり」(来場者数1万5千人)「川崎市消費生活展」(8千人)「川崎みなと祭り」

(21万5千人)「銀座街秋祭り」(9万人)「いいじゃんかわさき」(8万8千人)「連連つながろうかわさき」(1万2千人)「川崎競馬秋まつり」(9千人)「カワサキハロウィン」(11万人)「市民と働く者のフェスタ」(1万人)「サンピアンかわさき感謝まつり」(6千人)。

自己評価内容は、各イベントの概要(名称、開催日、主催者名、会場、来場者数)の他に、PR活動の実際、マスコミの取材状況、他のイベントとの連携性、新規性・独自性、ボランティア活動状況、寄付協賛状況などが記載されています。

秋のイベントは、「フェスティバルかわさき」として15団体が参加して共同PRを行っております。TMO主催の連連つながろうかわさきが幹事となって「共同PR」を実行しています。

年々参加イベント団体が増えており、地域全体としてのイベント情報発信力が増しています。これらイベントをさらに充実させ、成果を確認していく方法として、イベント自己評価が力を発揮していくことをめざしております。

自己評価内容は、各イベントの概要(名称、開催日、主催者名、会場、来場者数)の他に、PR活動の実際、マスコミの取材状況、他のイベントとの連携性、新規性・独自性、ボランティア活動状況、寄付協賛状況などが記載されています。

秋のイベントは、「フェスティバルかわさき」として15団体が参加して共同PRを行っております。TMO主催の連連つながろうかわさきが幹事となって「共同PR」を実行しています。

年々参加イベント団体が増えており、地域全体としてのイベント情報発信力が増しています。これらイベントをさらに充実させ、成果を確認していく方法として、イベント自己評価が力を発揮していくことをめざしております。

自己評価内容は、各イベントの概要(名称、開催日、主催者名、会場、来場者数)の他に、PR活動の実際、マスコミの取材状況、他のイベントとの連携性、新規性・独自性、ボランティア活動状況、寄付協賛状況などが記載されています。

(タウンマネージャー笹原克)

◇事務局便り

○平日オープンカフェを実施しました(5月12、15、19、22日)。お天気の影響で、初日と最終日は半日のみで開催となりましたが、途中2日間は、平日にも関わらず多くの方(19日には65名)にご利用いただきました。ただ、強風にあおられ傘が破損したり、ゲリラ雨に見舞われ、大慌てで片付けるなど、オープンカフェの課題も見えてきた実験となりました。

○商店街協定認定店に、川崎駅前仲見世通商店街振興組合推薦の「フェュエル」(東田町11-10)と川崎砂子会協同組合推薦の「型無夢荘」(川崎区砂子2-7-6)の2店舗が加わり、認定店は23店舗になりました。



「型無夢荘」(写真上)と「Fuel フェュエル」(写真下)

○かわさきTMOの2014年度第1回総会を6月23日(月)に開催します。会員の皆様にはぜひご参加のほどよろしくお願ひ申し上げます。

(事務局 六反友佳里)